

白川村荻町(岐阜県)

(1) 保存地区の概要

地区名 白川村荻町

種別 農村集落

面積 45.6ヘクタール

選定年月日 昭和51年 9月 4日

特徴

荻町伝統的建造物群の主体をなす建築物は、白川郷と越中五箇山に特色的にみられる「合掌造り」の家屋群である。江戸時代中期から養蚕が盛んになり、また焰硝製造もおこなわれるようになったことが、合掌造り民家の発達を促したといわれている。集落の中心部分は庄川の東側右岸に広がる三日月形をした河岸段丘にあり、屋敷地は耕作地の間に点在している。合掌造り民家群の棟方向は庄川筋に沿って一定の方向性が見られ、その周囲に展開する旧道、田畑や畦畔、用水など山間部における自然的な農耕形態とあいまった独特の集落景観を保っている。



(2) 保存地区のあゆみ

- 昭和46年度(1971) 「白川郷荻町集落の自然環境を守る会発足。
- 昭和49年度(1974) 伝統的建造物群保存対策調査実施。
- 昭和51年度(1976) 『重要伝統的建造物群保存地区選定』
- 昭和52年度(1977) 放水銃、屋外・屋内消火栓設備防災事業6か年事業にて着手。
- 昭和59年度(1984) 保存計画見直し調査実施。
- 昭和62年度(1987) 保存基金設立。
- 平成 1年度(1989) 合掌集落ライトアップイベント開始。
- 平成 7年度(1995) 「白川郷・五箇山の合掌造り集落」が世界文化遺産登録。
- 平成 9年度(1997) (財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団設立。村営せせらぎ公園駐車場供用開始。
- 平成13年度(2001) 世界遺産登録後の交通対策渋滞問題の解決に向け「荻町交通対策委員会」設立。
- 平成15年度(2003) 荻町交通対策基本計画策定。白川村景観条例策定。
- 平成21年度(2009) 保存地区内「大型車両通行規制」実施。
- 平成22年度(2010) 「白川村世界遺産マスタープラン策定。」
- 平成23年度(2011) 村営荻町駐車場閉鎖。
- 平成25年度(2013) 「白川村観光基本計画」策定。
- 平成26年度(2014) 保存地区内通年観光車両交通制限実施。
- 平成27年度(2015) 世界遺産20周年記念事業。茅刈イベント開始。
- 平成28年度(2016) 重伝建選定40周年記念事業実施。
- 平成31年度(2018) ITS国際茅葺き会議実施。

白川村荻町(岐阜県)

(3) 保存地区の保存と整備

- ・ 選定から40年間で220件の保存修理実績。
- ・ 放水銃59基を主体とした防災施設事業の実施。
- ・ 地区内国道1.3km、村道3.2km合計4.5kmの電線類地中化事業を平成10年度に開始し平成22年度に全事業が完了。国道は岐阜県、その他村道は白川村が事業主体となり国交省事業等支援を受けて実施。
- ・ (一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団による軽微な修理や一般建築物に対する修景助成を平成9年より実施。令和元年度までで381件。



放水銃設備



修理前



修理後



電線地中化前



電線地中化後



保存修理件数推移



結の屋根葺き

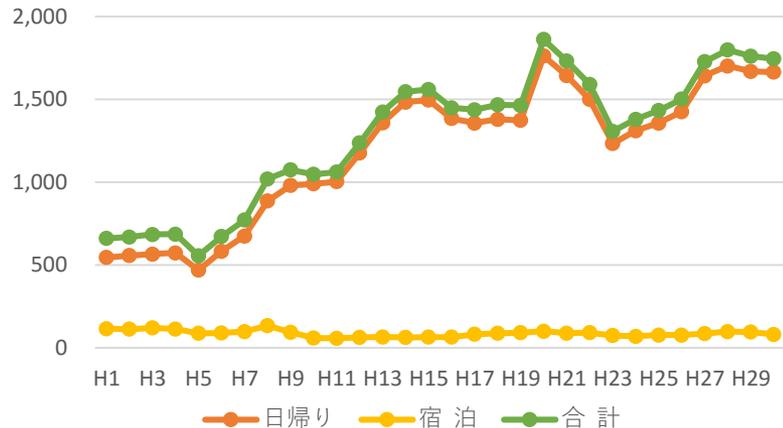
白川村荻町(岐阜県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

その1 交流人口の増

- ・ 四季が感じられるイベントの実施。
- ・ 地元住民組織主体の冬のイメージアップ戦略、冬のライトアップイベント。
- ・ 地域の伝統的な祭礼・芸能の維持継承による地域の魅力発信。
- ・ 伝統資材「茅」の自給の取り組みをきっかけとした茅刈イベント「われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト」の活性化。
- ・ 茅刈イベント企画の関わりから生まれた都市部の若者人材(かややね会議)との連携。
- ・ 白川村をキャンパスにしたソーシャル大学「白川郷ヒト大学」の取り組み。
- ・ 国内インバウンド需要高まりの影響による外国人観光客の増加。

観光客数の推移



田植え祭



どぶろく祭



茅刈イベント



かややね会議



外国人観光客増加



冬のライトアップ



伝統芸能の継承(春駒)



ゴブリンアートプロジェクト



ミニ茅ニューづくり



白川郷ヒト大学

白川村荻町(岐阜県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

その2 まちづくりから人づくり

- ・ 白川郷学園と地域の連携による「ふるさと学習」の積極展開。
- ・ 地域の職人さんを講師に迎え伝統技術を学ぶ。
- ・ 「結」の屋根葺きで子供たちのふるさとを愛する心の醸成。
- ・ 茅の大切さを毎年の茅刈作業を通じ合掌文化を感じ取る。
- ・ 白川郷学園として国際茅葺き会議の受け入れを経験して子供たちの国際的な視野を広げる。



合掌造り小屋組み組み立て授業(地域の職人さんから伝統技術を学ぶ)



白川郷学園茅刈り作業



国際茅葺き会議への参画



(5) 住民等の取組

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

設立 昭和46年12月25日

会員 荻町集落の住民

活動 毎月の現状変更協議。景観保全の啓発活動。会報誌「ねそ」の発行。茅刈イベントの開催。結の屋根葺きの奨励。

保存会の声

昭和46年から保存活動をスタートした先人先輩方。昭和51年の重伝建選定を追い風に、住民が力を合わせて合掌家屋を守ってきました。それが世界遺産登録につながり、多くの人々が訪れる地となりました。私たちはこの合掌集落に生活できることを誇りに、先人や今を生きる住民、ご支援くださる行政・有識者をはじめとする全ての方々への感謝を忘れず、次代を担う子どもたちに胸を張ってつなげていけるよう努力を続けて参ります。



毎月開催の定例会



集落見回り活動



旧寺口家の管理



大ハンゴン草の除去作業